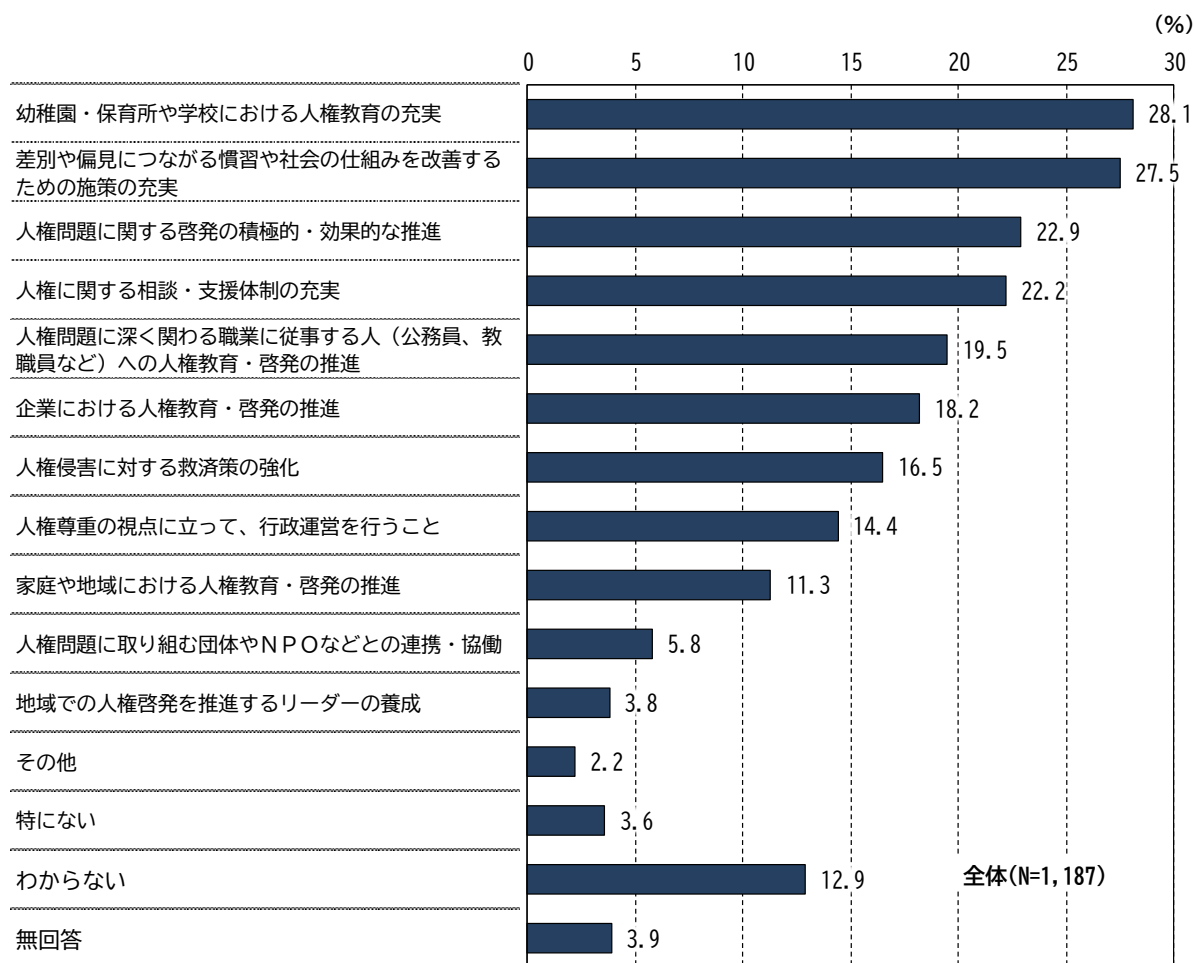


第3章 人権問題の教育・啓発について

1 人権問題への取り組みについて

問 30 あなたは市民一人ひとりの人権が尊重されるために、福岡市などの行政機関は、特にどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

図表 30-1 人権が尊重されるために行政機関が取り組むべきこと (全体)



市民一人ひとりの人権が尊重されるために、行政機関が取り組むべきこととしては、「幼稚園・保育所や学校における人権教育の充実」が28.1%と最も高くなっている。次いで「差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実」(27.5%)、「人権問題に関する啓発の積極的・効果的な推進」(22.9%)、「人権に関する相談・支援体制の充実」(22.2%)となっている。

図表 30-2 人権が尊重されるために行政機関が取り組むべきこと（全体／経年比較）

選択肢	今回 (n=1,187)	令和4年度 (n=1,303)
幼稚園・保育所や学校における人権教育の充実	28.1%	24.8%
差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実	27.5%	27.6%
人権問題に関する啓発の積極的・効果的な推進	22.9%	20.2%
人権に関する相談・支援体制の充実	22.2%	25.1%
人権問題に深く関わる職業に従事する人（公務員、教職員など）への人権教育・啓発の推進	19.5%	17.5%
企業における人権教育・啓発の推進	18.2%	14.5%
人権侵害に対する救済策の強化	16.5%	16.5%
人権尊重の視点に立って、行政運営を行うこと	14.4%	7.5%
家庭や地域における人権教育・啓発の推進	11.3%	10.3%
人権問題に取り組む団体やNPOなどとの連携・協働	5.8%	6.7%
地域での人権啓発を推進するリーダーの養成	3.8%	4.5%
その他	2.2%	1.8%
特にない	3.6%	4.0%
わからない	12.9%	8.9%
無回答	3.9%	3.1%

令和4年度と比較すると、上位項目では、「幼稚園・保育所や学校における人権教育の充実」は3.3ポイント増加、「差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実」は0.1ポイント減少、「人権問題に関する啓発の積極的・効果的な推進」は2.7ポイント増加、「人権に関する相談・支援体制の充実」は2.9ポイント減少している。

また、「人権尊重の視点に立って、行政運営を行うこと」は6.9ポイント増加し、7.5%から14.4%となっている。

図表30-3 人権が尊重されるために行政機関が取り組むべきこと（性・年代別）

(数値：%)

	サンプル数	幼稚園・保育園・保育所や学校における人権教育の充実	幼児や社会の仕組を改善	差別や偏見の解消	習得のための施策の実施	差別的な見方を変える	積極的・効果的な啓発の推進	人権問題に関する相談・支援体制の充実	人権に関心する人（公務員、教職員など）への啓発の推進	人権問題に深く関わる職業に従事する人への啓発の推進	企業における人権教育・啓発の推進	人権侵害に対する救済策の強化	人権尊重の視点に立つこと	家庭や地域における人権教育・啓発の推進
全体	1,187	28.1	27.5	22.9	22.2	19.5	18.2	16.5	14.4	11.3				
性・年代別	女性計	678	27.3	29.2	21.5	22.7	20.5	17.3	17.6	13.7	10.5			
	18~29歳	82	35.4	26.8	22.0	24.4	18.3	17.1	● 29.3	8.5	4.9			
	30代	86	● 38.4	24.4	19.8	23.3	15.1	24.4	18.6	9.3	16.3			
	40代	115	27.8	34.8	22.6	19.1	23.5	23.5	22.6	9.6	8.7			
	50代	109	26.6	33.9	22.9	23.9	12.8	16.5	17.4	11.9	14.7			
	60代	115	24.3	33.9	19.1	22.6	25.2	18.3	16.5	14.8	10.4			
	70代	106	19.8	23.6	24.5	27.4	22.6	10.4	10.4	20.8	10.4			
	80歳以上	65	20.0	21.5	18.5	16.9	26.2	7.7	6.2	23.1	6.2			
	男性計	473	28.3	25.4	26.0	22.2	18.6	19.9	15.0	15.6	13.1			
	18~29歳	51	27.5	23.5	15.7	17.6	17.6	23.5	21.6	11.8	13.7			
	30代	56	33.9	25.0	25.0	16.1	8.9	17.9	14.3	10.7	16.1			
	40代	56	32.1	17.9	25.0	19.6	14.3	19.6	17.9	14.3	12.5			
	50代	92	29.3	27.2	18.5	15.2	21.7	27.2	17.4	17.4	12.0			
	60代	87	31.0	35.6	● 37.9	● 35.6	18.4	16.1	12.6	16.1	16.1			
70代	92	21.7	23.9	26.1	22.8	23.9	17.4	10.9	18.5	8.7				
80歳以上	38	23.7	15.8	● 34.2	23.7	21.1	15.8	10.5	18.4	15.8				

	サンプル数	協働NPOなどとの連携	地域での啓発の推進	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	1,187	5.8	3.8	2.2	3.6	12.9	3.9	
性・年代別	女性計	678	6.8	4.1	1.6	2.1	13.3	4.7
	18~29歳	82	9.8	-	1.2	2.4	14.6	2.4
	30代	86	4.7	2.3	1.2	5.8	10.5	1.2
	40代	115	5.2	1.7	2.6	-	13.0	2.6
	50代	109	8.3	4.6	3.7	0.9	11.9	0.9
	60代	115	11.3	5.2	1.7	3.5	11.3	3.5
	70代	106	3.8	6.6	-	0.9	10.4	11.3
	80歳以上	65	3.1	9.2	-	1.5	● 26.2	13.8
	男性計	473	4.4	3.6	3.0	5.5	11.6	3.0
	18~29歳	51	5.9	-	7.8	5.9	15.7	-
	30代	56	5.4	3.6	5.4	5.4	14.3	-
	40代	56	5.4	3.6	5.4	1.8	16.1	1.8
	50代	92	3.3	1.1	3.3	8.7	5.4	2.2
	60代	87	4.6	4.6	-	2.3	8.0	2.3
70代	92	4.3	3.3	1.1	7.6	14.1	5.4	
80歳以上	38	2.6	13.2	-	5.3	13.2	10.5	

※ ■ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

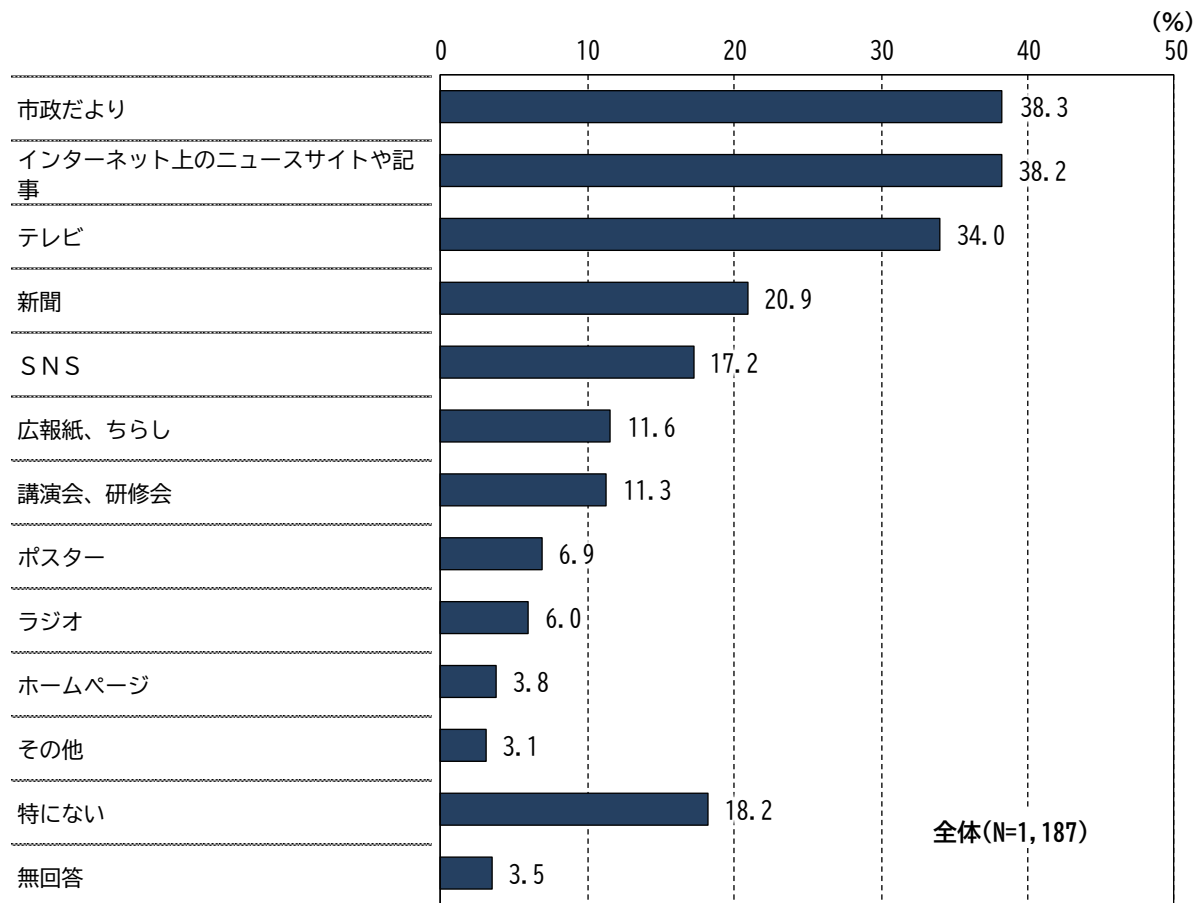
性別にみると、女性では「差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善するための施策の充実」(29.2%)が最も高く、次いで「幼稚園・保育所や学校における人権教育の充実」(27.3%)となっているが、男性では「幼稚園・保育所や学校における人権教育の充実」(28.3%)が最も高く、次いで「人権問題に関する啓発の積極的・効果的な推進」(26.0%)と順位に差はみられるものの、性別による割合に大きな差はみられない。

性・年代別にみると、女性30代で「幼稚園・保育所や学校における人権教育の充実」、男性60代・80歳以上で「人権問題に関する啓発の積極的・効果的な推進」、男性60代で「人権に関する相談・支援体制の充実」、女性18～29歳で「人権侵害に対する救済策の強化」、女性80歳以上で「わからない」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

2 人権問題に関する情報の入手経路

問 31 あなたは、人権問題の教育・啓発に関する情報をどこから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

図表 31-1 人権問題に関する情報の入手経路 (全体)



人権問題に関する情報の入手経路としては、「市政だより」が 38.3%と最も高くなっている。次いで「インターネット上のニュースサイトや記事」(38.2%)、「テレビ」(34.0%)、「新聞」(20.9%)となっている。

図表 31-2 人権問題に関する情報の入手経路（全体／経年比較）

選択肢	今回 (n=1,187)	令和4年度 (n=1,303)
市政だより	38.3%	36.5%
インターネット上のニュースサイトや記事	38.2%	44.6%
テレビ	34.0%	48.4%
新聞	20.9%	30.2%
SNS	17.2%	13.6%
広報紙、ちらし	11.6%	9.3%
講演会、研修会	11.3%	13.0%
ポスター	6.9%	6.1%
ラジオ	6.0%	7.8%
ホームページ	3.8%	3.6%
その他	3.1%	2.0%
特にない	18.2%	10.7%
無回答	3.5%	2.0%

令和4年度と比較すると、上位項目では、「市政だより」は1.8ポイント増加しているが、「インターネット上のニュースサイトや記事」は6.4ポイント減少、「テレビ」は14.4ポイント減少、「新聞」は9.3ポイント減少している一方、「特にない」が7.5ポイント増加している。

図表 31-3 人権問題に関する情報の入手経路（年代別）

（数値：％）

	サンプル数	市政だより	ニュースサイトや記事	テレビ	新聞	SNS	広報紙、ちらし	講演会、研修会	ポスター	ラジオ	ホームページ	その他	特にない	無回答	
全体	1,187	38.3	38.2	34.0	20.9	17.2	11.6	11.3	6.9	6.0	3.8	3.1	18.2	3.5	
年代別	18～29歳	136	13.2	47.8	29.4	7.4	● 47.8	6.6	10.3	6.6	2.9	5.1	2.9	18.4	2.2
	30代	145	25.5	44.8	23.4	4.8	● 29.7	8.3	6.2	8.3	4.1	3.4	● 31.0	0.7	
	40代	177	36.7	44.6	27.1	9.6	18.1	10.2	7.9	5.1	4.0	5.6	5.6	19.8	1.7
	50代	205	35.6	● 49.8	32.2	13.7	16.6	10.2	12.2	6.8	4.9	4.4	3.4	17.6	1.5
	60代	204	● 48.5	42.2	36.3	27.5	7.8	13.7	15.2	9.8	9.3	3.4	1.5	10.3	3.9
	70代	199	● 52.8	24.6	● 45.2	● 39.7	4.5	19.1	12.1	6.5	8.0	2.5	2.0	14.1	7.0
	80歳以上	107	● 49.5	3.7	● 45.8	● 47.7	2.8	10.3	15.9	3.7	7.5	0.9	2.8	19.6	9.3

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

年代別にみると、50代以下では「インターネット上のニュースサイトや記事」、30代以下では「SNS」、60代以上では「市政だより」「新聞」、70代以上では「テレビ」が他の年代に比べて高くなっている。

図表 31-4 人権問題に関する情報の入手経路（性・年代別）

（数値：％）

	サンプル数	市政だより	ニュースサイトや記事	テレビ	新聞	SNS	広報紙、ちらし	講演会、研修会	ポスター	ラジオ	ホームページ	その他	特にない	無回答	
全体	1,187	38.3	38.2	34.0	20.9	17.2	11.6	11.3	6.9	6.0	3.8	3.1	18.2	3.5	
性・年代別	女性計	678	42.5	36.7	35.3	19.6	17.4	11.8	11.8	5.9	5.2	3.1	2.9	17.3	4.3
	18～29歳	82	17.1	45.1	30.5	7.3	● 48.8	7.3	7.3	7.3	2.4	3.7	2.4	18.3	3.7
	30代	86	25.6	43.0	24.4	2.3	● 27.9	5.8	7.0	7.0	2.3	2.3	1.2	● 33.7	-
	40代	115	43.5	43.5	32.2	8.7	17.4	12.2	8.7	3.5	4.3	4.3	5.2	16.5	1.7
	50代	109	41.3	● 48.6	33.9	15.6	19.3	11.0	11.9	6.4	3.7	3.7	3.7	18.3	0.9
	60代	115	● 50.4	38.3	34.8	24.3	5.2	11.3	17.4	7.0	7.8	3.5	1.7	8.7	5.2
	70代	106	● 61.3	25.5	● 46.2	● 37.7	4.7	● 22.6	14.2	6.6	8.5	1.9	3.8	10.4	8.5
	80歳以上	65	● 52.3	1.5	● 46.2	● 46.2	3.1	9.2	15.4	3.1	6.2	1.5	1.5	20.0	12.3
	男性計	473	32.3	40.6	33.4	23.9	17.3	11.8	10.8	8.2	7.4	4.9	3.0	18.6	2.7
	18～29歳	51	7.8	● 51.0	23.5	7.8	● 47.1	5.9	13.7	3.9	3.9	7.8	3.9	19.6	-
	30代	56	23.2	46.4	23.2	7.1	● 32.1	12.5	1.8	10.7	7.1	5.4	7.1	● 28.6	1.8
	40代	56	23.2	● 50.0	19.6	12.5	21.4	5.4	7.1	7.1	3.6	8.9	3.6	25.0	1.8
	50代	92	28.3	● 51.1	30.4	12.0	14.1	9.8	13.0	7.6	6.5	5.4	3.3	16.3	2.2
	60代	87	44.8	46.0	39.1	● 31.0	11.5	17.2	12.6	13.8	11.5	3.4	1.1	12.6	2.3
	70代	92	43.5	23.9	● 44.6	● 42.4	4.3	15.2	9.8	6.5	7.6	3.3	-	17.4	5.4
80歳以上	38	47.4	7.9	● 50.0	● 55.3	2.6	13.2	18.4	5.3	10.5	-	5.3	13.2	5.3	

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

性別にみると、女性では「市政だより」が42.5%と最も高く、次いで「インターネット上のニュースサイトや記事」(36.7%)、「テレビ」(35.3%)となっているが、男性では「インターネット上のニュースサイトや記事」が40.6%と最も高く、次いで「テレビ」(33.4%)、「市政だより」(32.3%)となっている。

性・年代別にみると、男女とも50代以下では「インターネット上のニュースサイトや記事」、30代以下では「SNS」、60代以上では「市政だより」「テレビ」「新聞」が高くなる傾向がみられる。

図表 31-5 人権問題に関する情報の入手経路（人権問題関心度別）

(数値：%)

		サンプル数	市政だより	ニュースサイトや記事	テレビ	新聞	SNS	広報紙、ちらし	講演会、研修会	ポスター	ラジオ	ホームページ	その他	特にない	無回答	
全体		1,187	38.3	38.2	34.0	20.9	17.2	11.6	11.3	6.9	6.0	3.8	3.1	18.2	3.5	
人権問題関心度	関心層	822	42.1	42.7	35.8	23.0	19.5	12.5	14.0	8.5	7.3	4.9	3.9	11.7	3.8	
	関心がある	203	40.4	44.8	36.9	27.6	22.7	15.8	19.7	13.3	11.3	9.9	5.4	8.4	6.4	
	多少関心がある	619	42.6	42.0	35.4	21.5	18.4	11.5	12.1	6.9	6.0	3.2	3.4	12.8	2.9	
	無関心層	326	27.6	27.9	28.5	12.9	11.7	8.6	4.6	1.8	2.1	1.5	1.5	35.0	2.5	
	あまり関心がない	261	27.6	30.3	30.3	13.4	12.6	8.8	5.4	2.3	2.7	1.5	1.5	32.2	2.3	
	関心がない	65	27.7	18.5	21.5	10.8	7.7	7.7	1.5	-	-	1.5	1.5	46.2	3.1	
人権問題関心度 年齢層別	関心層	39歳以下	186	24.2	55.4	29.0	8.1	46.2	8.6	9.1	8.6	3.8	5.9	4.3	16.1	1.1
		40～59歳	285	39.3	49.8	31.2	13.3	18.6	9.1	11.6	6.7	4.9	6.3	4.9	12.6	1.8
		60歳以上	341	54.0	30.2	44.0	39.9	5.9	17.6	19.1	10.0	11.1	3.2	2.9	7.9	7.0
	無関心層	39歳以下	91	9.9	27.5	22.0	2.2	23.1	4.4	6.6	4.4	3.3	1.1	2.2	41.8	2.2
		40～59歳	87	25.3	39.1	25.3	5.7	12.6	11.5	5.7	2.3	2.3	1.1	3.4	36.8	1.1
		60歳以上	144	41.0	21.5	34.0	24.3	3.5	9.7	2.8	-	1.4	1.4	-	29.2	3.5

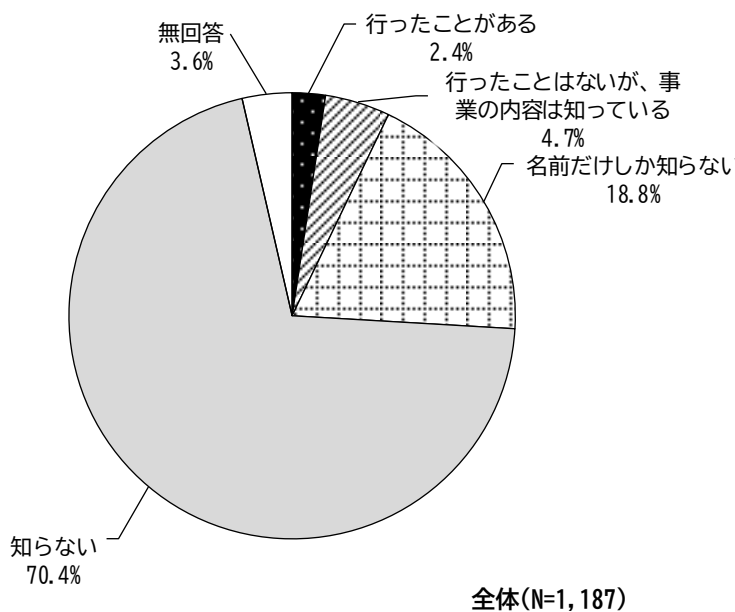
※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

人権問題関心度別にみると、関心がある層では「インターネット上のニュースサイトや記事」「新聞」「SNS」「講演会、研修会」、関心がない層では「特にない」に次いで「テレビ」が高くなっている。年齢別人権問題関心度別にみると、関心層の39歳以下では「インターネット上のニュースサイトや記事」「SNS」、40～59歳では「インターネット上のニュースサイトや記事」、60歳以上では「市政だより」「テレビ」「新聞」が高くなっている。また、関心の有無にかかわらず、39歳以下では「SNS」が高くなっている。

3 「福岡市人権啓発センター(ココロンセンター)」の認知状況

問 32 あなたは、「福岡市人権啓発センター(ココロンセンター)」を知っています。
(○は1つだけ)

図表 32-1 福岡市人権啓発センター(ココロンセンター)の認知状況 (全体)



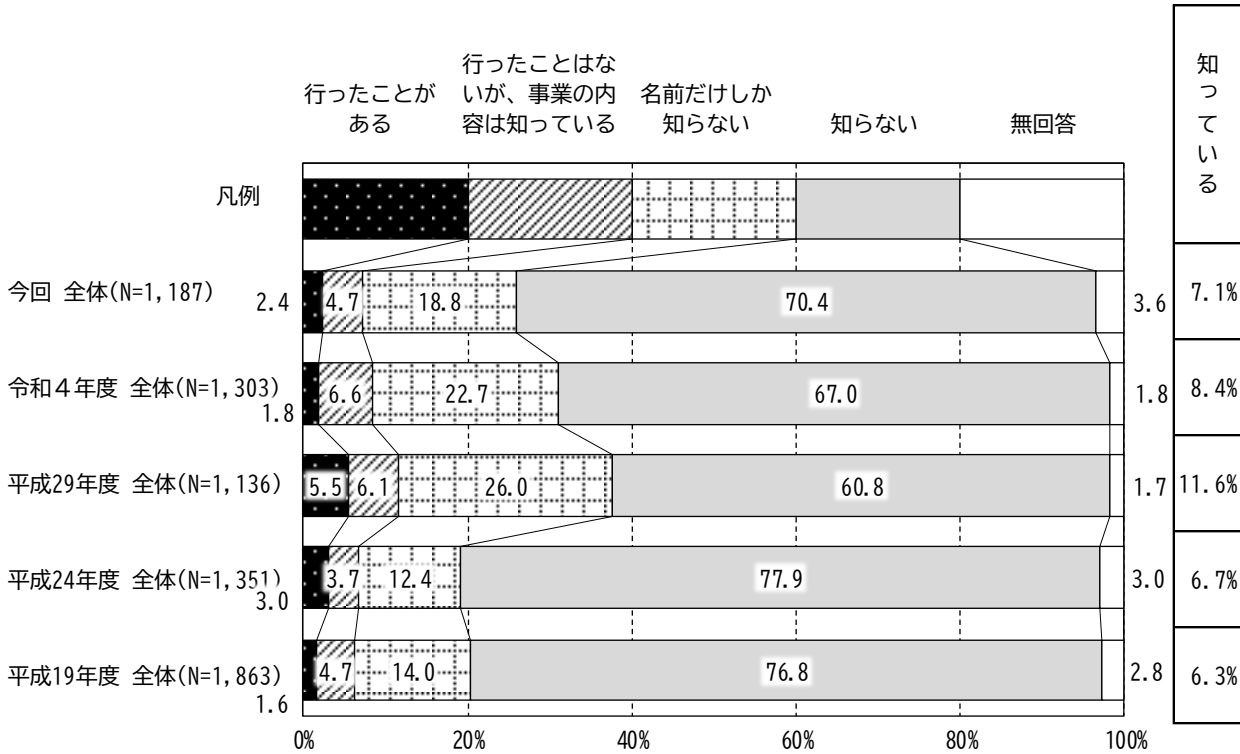
『知っている』 7.1%

『知っている』 = 「行ったことがある」「行ったことはないが、事業の内容は知っている」を合計した割合

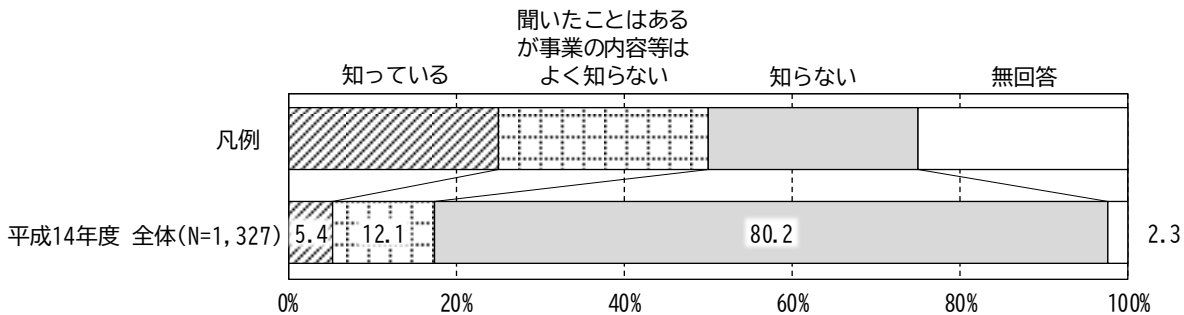
「福岡市人権啓発センター(ココロンセンター)」については、「行ったことがある」が2.4%、「行ったことはないが、事業は知っている」が4.7%、これらを合わせた『知っている』は7.1%となっている。

なお、「名前だけしか知らない」が18.8%、「知らない」が70.4%となっている。

図表 32-2 福岡市人権啓発センター(ココロンセンター)の認知状況(全体/経年比較)

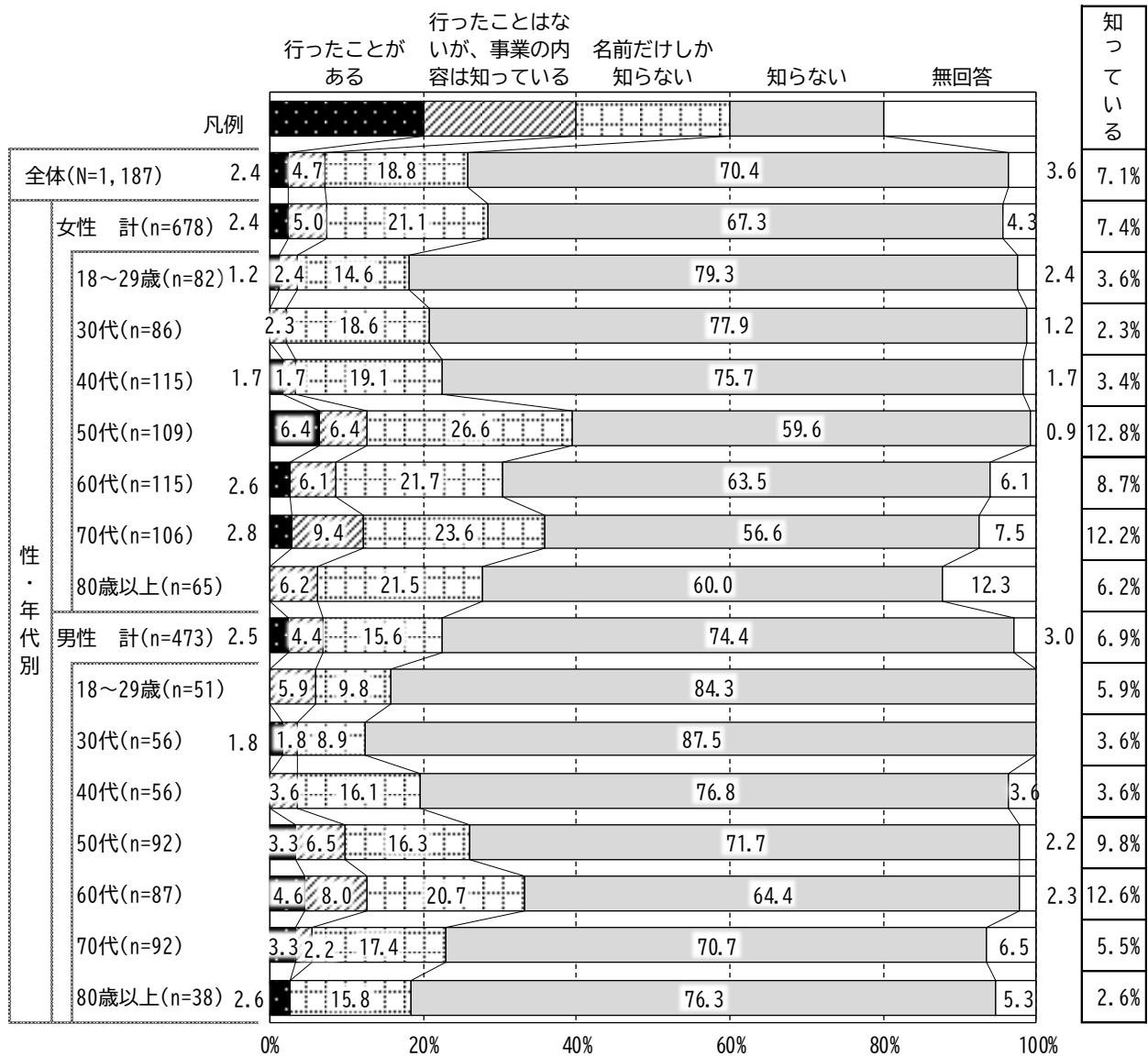


『知っている』=「行ったことがある」「行ったことはないが、事業の内容は知っている」を合計した割合



令和4年度と比較すると、「行ったことがある」は0.6ポイント増加、「行ったことはないが、事業の内容は知っている」は1.9ポイント減少、これらを合わせた『知っている』は1.3ポイント減少している。また、「名前だけしか知らない」は3.9ポイント減少、「知らない」は3.4ポイント増加している。過去の調査結果と比較すると、『知っている』は、平成19年度では6.3%であったが、平成29年度は11.6%まで増加したものの、令和4年度は8.4%、今回調査は7.1%と減少傾向にあり、最も高かった平成29年度に比べて4.5ポイント減少している。

図表 32-3 福岡市人権啓発センター(ココロンセンター)の認知状況(性・年代別)



『知っている』=「行ったことがある」「行ったことはないが、事業の内容は知っている」を合計した割合

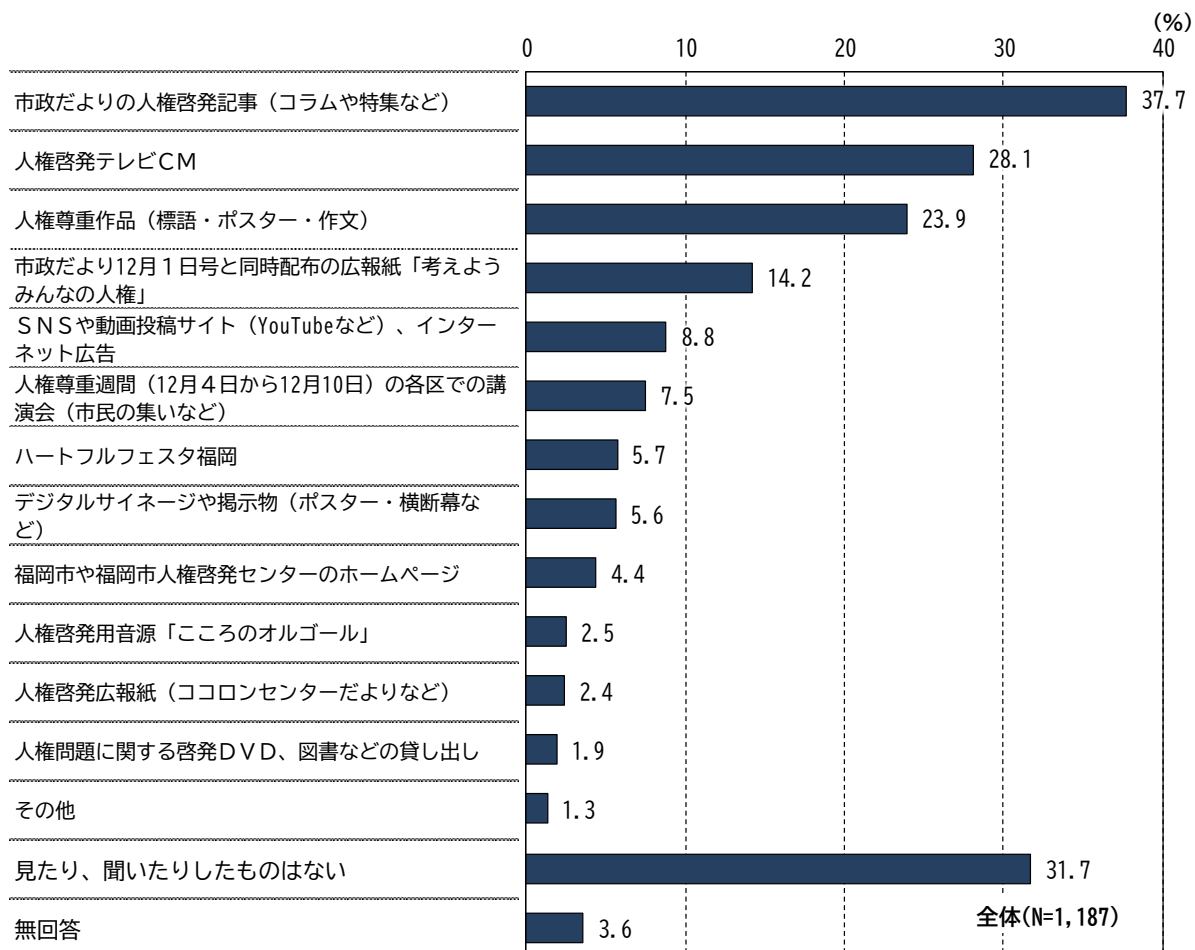
性別にみると、『知っている』は、女性は 7.4%、男性は 6.9%と差はほとんどないが、「知らない」は、女性 67.3%、男性 74.4%と、男性の方が女性より 7.1 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、『知っている』が 10%を超えているのは、女性では 50 代、70 代、男性では 60 代となっている。一方、女性の 40 代以下、男性の 30 代・40 代・80 歳以上で、『知っている』が 5%未満となっている。

4 啓発活動の認知状況

問 33 福岡市では、人権問題についての啓発活動を行っていますが、あなたがこの5年間に、見たり、聞いたりしたことがあるものを、すべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

図表 33-1 啓発活動の認知状況 (全体)



この5年間に、見たり、聞いたりしたことがある啓発活動としては、「市政だよりの人権啓発記事 (コラムや特集など)」が37.7%と最も高くなっている。次いで「人権啓発テレビCM」(28.1%)、「人権尊重作品 (標語・ポスター・作文)」(23.9%)となっている。

また、「見たり、聞いたりしたものはない」が31.7%となっている。

図表 33-2 啓発活動の認知状況（全体／経年比較）

選択肢	今回 (n=1,187)	令和4年度 (n=1,303)
市政だよりの人権啓発記事（コラムや特集など）	37.7%	41.7%
人権啓発テレビCM	28.1%	30.1%
人権尊重作品（標語・ポスター・作文）	23.9%	24.8%
市政だより12月1日号と同時配布の広報紙「考えようみんなの人権」	14.2%	13.8%
SNSや動画投稿サイト（YouTubeなど）、インターネット広告※1	8.8%	6.2%
人権尊重週間（12月4日から12月10日）の各区での講演会（市民の集いなど）	7.5%	7.6%
ハートフルフェスタ福岡	5.7%	6.4%
デジタルサイネージや掲示物（ポスター・横断幕など）	5.6%	5.9%
福岡市や福岡市人権啓発センターのホームページ	4.4%	4.4%
人権啓発用音源「こころのオルゴール」※2	2.5%	5.6%
人権啓発広報紙（ココロンセンターだよりなど）	2.4%	3.4%
人権問題に関する啓発DVD、図書などの貸し出し	1.9%	2.6%
その他	1.3%	0.9%
見たり、聞いたりしたものはない	31.7%	24.9%
無回答	3.6%	5.1%

※1 今回調査では文言から「メールマガジン」を削除

※2 今回調査の「人権啓発用音源」は令和4年度調査では「ラジオ番組」

令和4年度と比較すると、上位項目では、「市政だよりの人権啓発記事（コラムや特集など）」は4.0ポイント減少、「人権啓発テレビCM」は2.0ポイント減少、「人権尊重作品（標語・ポスター・作文）」は0.9ポイント減少している。一方、「見たり、聞いたりしたものはない」は6.8ポイント増加している。

図表 33-3 啓発活動の認知状況（性・年代別）

(数値：%)

	サンプル数	市政だよりの人権啓発記事（コラムや特集など）	人権啓発テレビCM	人権尊重作品（標語・ポスター・作文）	市政だよりの12月1日号と同時配布の広報紙「考えようみんなの人権」	SNSや動画投稿サイト（YouTubeなど）、インターネット広告	各区での講演会（市民の集いなど）	人権尊重週間（12月10日）の日から12月10日の4日間	ハートフルフェスタ福岡	デジタルサイネージや掲示物（ポスター・横断幕など）	福岡市や福岡市人権啓発センターのホームページ
全体	1,187	37.7	28.1	23.9	14.2	8.8	7.5	5.7	5.6	4.4	
性・年代別	女性計	678	40.0	29.5	26.7	15.5	9.3	7.4	7.2	6.2	3.7
	18～29歳	82	15.9	13.4	26.8	8.5	18.3	6.1	8.5	11.0	2.4
	30代	86	31.4	20.9	20.9	4.7	10.5	1.2	1.2	3.5	2.3
	40代	115	37.4	27.8	25.2	12.2	10.4	7.8	6.1	7.8	4.3
	50代	109	39.4	36.7	29.4	11.0	9.2	7.3	8.3	7.3	8.3
	60代	115	● 48.7	34.8	31.3	15.7	7.0	11.3	7.0	4.3	3.5
	70代	106	● 54.7	● 41.5	31.1	● 34.9	7.5	9.4	11.3	5.7	1.9
	80歳以上	65	● 47.7	23.1	16.9	20.0	1.5	6.2	7.7	3.1	1.5
	男性計	473	35.3	27.3	20.3	12.7	7.8	7.8	3.0	4.9	5.3
	18～29歳	51	11.8	15.7	19.6	5.9	17.6	3.9	-	3.9	7.8
	30代	56	26.8	16.1	12.5	8.9	7.1	-	-	3.6	3.6
	40代	56	25.0	25.0	8.9	3.6	12.5	5.4	1.8	3.6	3.6
	50代	92	26.1	31.5	25.0	6.5	8.7	4.3	6.5	10.9	7.6
	60代	87	● 49.4	● 44.8	25.3	18.4	5.7	10.3	4.6	3.4	4.6
70代	92	● 52.2	23.9	18.5	15.2	3.3	13.0	2.2	2.2	1.1	
80歳以上	38	44.7	18.4	28.9	● 36.8	2.6	● 18.4	2.6	5.3	13.2	

	サンプル数	人権啓発用音源「こころのオルゴール」	人権啓発広報紙（ココロセンタ―だよりなど）	V人権問題に関する貸し出しDVD、図書	その他	見たり、聞いたりしたものは無い	無回答	
全体	1,187	2.5	2.4	1.9	1.3	31.7	3.6	
性・年代別	女性計	678	2.8	2.4	2.5	1.6	28.8	3.5
	18～29歳	82	6.1	1.2	4.9	-	40.2	3.7
	30代	86	1.2	-	-	-	● 47.7	-
	40代	115	4.3	0.9	2.6	3.5	29.6	1.7
	50代	109	2.8	1.8	4.6	3.7	26.6	1.8
	60代	115	1.7	3.5	0.9	0.9	20.9	2.6
	70代	106	2.8	4.7	3.8	-	14.2	5.7
	80歳以上	65	-	4.6	-	3.1	29.2	12.3
	男性計	473	1.9	2.5	1.1	0.8	35.1	3.6
	18～29歳	51	7.8	2.0	-	-	● 62.7	-
	30代	56	-	-	-	1.8	● 50.0	1.8
	40代	56	-	1.8	-	1.8	41.1	3.6
	50代	92	1.1	1.1	1.1	-	40.2	2.2
	60代	87	2.3	3.4	2.3	1.1	20.7	3.4
70代	92	2.2	5.4	2.2	1.1	20.7	7.6	
80歳以上	38	-	2.6	-	-	23.7	5.3	

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

性別にみると、女性では「人権尊重作品（標語・ポスター・作文）」が26.7%と、男性（20.3%）よりも6.4ポイント高くなっている。男性では「見たり、聞いたりしたものは無い」が35.1%と、女性（28.8%）よりも6.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも60代以上では「市政だよりの人権啓発記事（コラムや特集など）」が、18歳～29歳では「SNSや動画投稿サイト（YouTubeなど）、インターネット広告」が、それぞれ他の性・年代に比べて高くなっている。

また、女性70代、男性60代では「人権啓発テレビCM」、女性70代、男性80歳以上では「市政だよりの12月1日号と同時配布の広報紙「考えようみんなの人権」、男性80歳以上では「人権尊重週間（12月4日から12月10日）の各区での講演会（市民の集いなど）」、女性30代、男性30代以下では「見たり、聞いたりしたものはない」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

図表 33-4 啓発活動の認知状況（人権問題関心度別）

（数値：％）

	サンプル数	市政だよりの人権啓発記事（コラムや特集など）	人権啓発テレビCM	人権尊重作品（標語・ポスター・作文）	市政だよりの12月1日号と同時配布の広報紙「考えようみんなの人権」	インターネット広告（YouTubeなど）、動画投稿サイト	各区での講演会（市民の集いなど）	人権尊重週間（12月4日から12月10日）	ハートフルフェスタ福岡	デジタルポスター・横断幕など	福岡市や福岡市人権啓発センターのホームページ	
全体	1,187	37.7	28.1	23.9	14.2	8.8	7.5	5.7	5.6	4.4		
人権問題関心度	関心層	822	42.6	31.4	28.6	17.0	10.6	9.7	7.4	7.2	5.5	
	関心がある	203	45.3	30.0	● 34.0	20.7	10.3	13.8	10.8	7.9	7.4	
	多少関心がある	619	41.7	31.8	26.8	15.8	10.7	8.4	6.3	6.9	4.8	
	無関心層	326	24.2	20.6	12.6	6.1	4.6	2.1	1.2	1.8	1.2	
	あまり関心がない	261	26.1	23.0	14.9	5.4	5.4	1.9	1.1	1.9	1.1	
関心がない	65	16.9	10.8	3.1	9.2	1.5	3.1	1.5	1.5	1.5		
人権問題関心度	関心層	39歳以下	186	27.4	19.9	29.0	9.7	18.3	4.3	5.4	8.1	4.8
	40～59歳	285	36.1	32.3	26.0	10.9	12.6	7.4	8.4	9.5	7.0	
	60歳以上	341	● 56.6	36.7	30.5	● 25.5	4.7	14.7	7.6	4.4	4.4	
	無関心層	39歳以下	91	12.1	11.0	6.6	1.1	4.4	-	-	1.1	-
	40～59歳	87	21.8	24.1	18.4	2.3	2.3	3.4	-	2.3	2.3	
60歳以上	144	34.0	25.0	13.2	11.8	5.6	2.8	2.8	2.1	0.7		

	サンプル数	人権啓発用音源（こころのオルゴール）	人権啓発センター（報道など）	人権啓発問題に関する啓発DVD、図書など	その他	見たり、聞いたりしたものはなかったり	無回答		
全体	1,187	2.5	2.4	1.9	1.3	31.7	3.6		
人権問題関心度	関心層	822	2.9	3.2	2.4	1.0	24.9	3.4	
	関心がある	203	4.4	4.9	4.4	1.0	21.7	5.4	
	多少関心がある	619	2.4	2.6	1.8	1.0	26.0	2.7	
	無関心層	326	1.5	0.6	0.9	2.1	● 48.5	4.0	
	あまり関心がない	261	1.5	0.8	1.1	2.3	● 46.7	3.4	
関心がない	65	1.5	-	-	1.5	● 55.4	6.2		
人権問題関心度	関心層	39歳以下	186	4.8	1.1	1.6	-	36.6	0.5
	40～59歳	285	2.5	1.4	2.8	1.4	28.4	2.1	
	60歳以上	341	2.1	5.6	2.3	1.2	15.8	5.9	
	無関心層	39歳以下	91	1.1	-	1.1	1.1	● 70.3	3.3
	40～59歳	87	2.3	1.1	1.1	5.7	● 48.3	2.3	
60歳以上	144	0.7	0.7	0.7	0.7	34.0	5.6		

※  =全体の数値より+5ポイント、● =全体の数値より+10ポイント

人権問題関心度別にみると、関心がある層で「人権尊重作品（標語・ポスター・作文）」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

また、無関心層では「見たり、聞いたりしたものはない」が48.5%と、関心層より23.6ポイント高くなっている。

年齢層別人権問題関心度別にみると、関心層の60歳以上では「市政だよりの人権啓発記事（コラムや特集など）」と「市政だより12月1日号と同時配布の広報紙「考えようみんなの人権」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

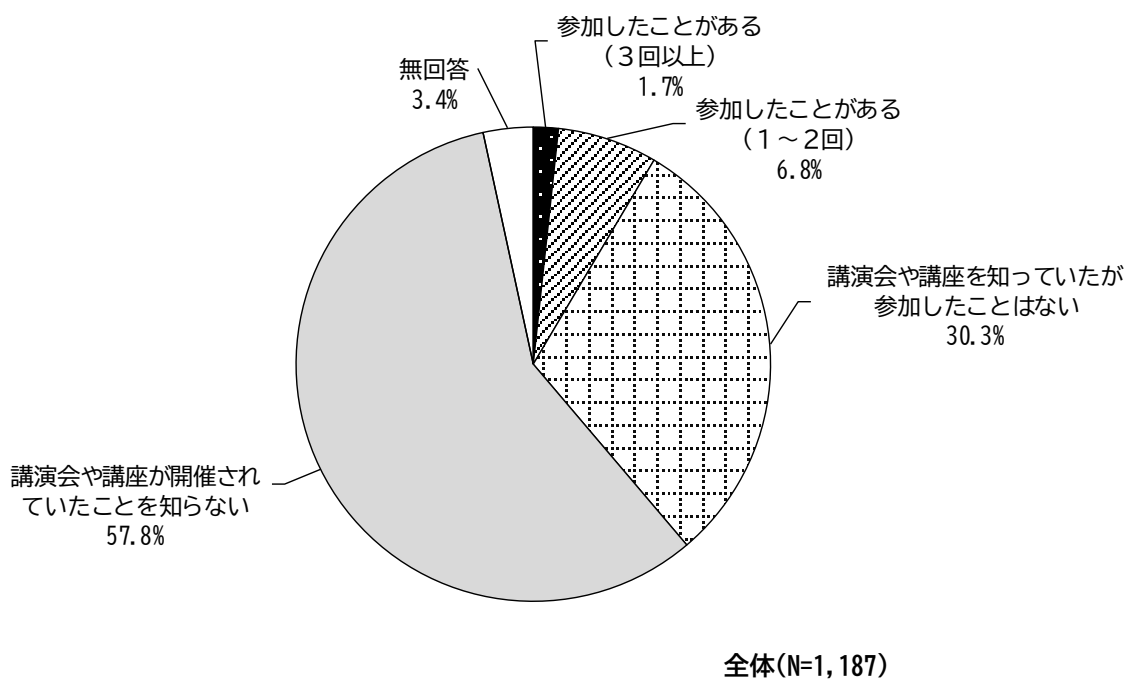
また、無関心層の39歳以下で「見たり、聞いたりしたものはない」が70.3%と高く、関心層でも39歳以下では「見たり、聞いたりしたものはない」が36.6%と高くなっている。

5 人権問題に関する講演会や講座について

(1) 講演会や講座への参加状況

問 34 あなたは、この5年間に、福岡市内で開催された人権問題に関する講演会や講座に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

図表 34-1 講演会や講座への参加状況 (全体)

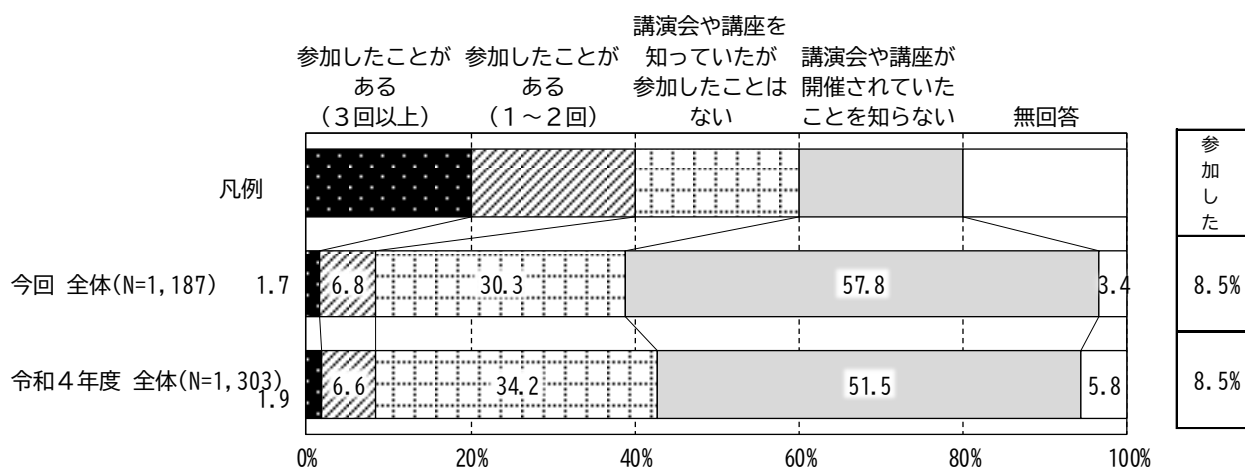


『参加した』 = 「参加したことがある (3回以上)」 「参加したことがある (1～2回)」 を合計した割合

福岡市内で開催された人権問題に関する講演会や講座への参加状況については、「参加したことがある (3回以上)」が1.7%、「参加したことがある (1～2回)」が6.8%、これらを合計した『参加した』は8.5%となっている。

なお、「講演会や講座を知っていたが参加したことはない」が30.3%、「講演会や講座が開催されていたことを知らない」が57.8%となっている。

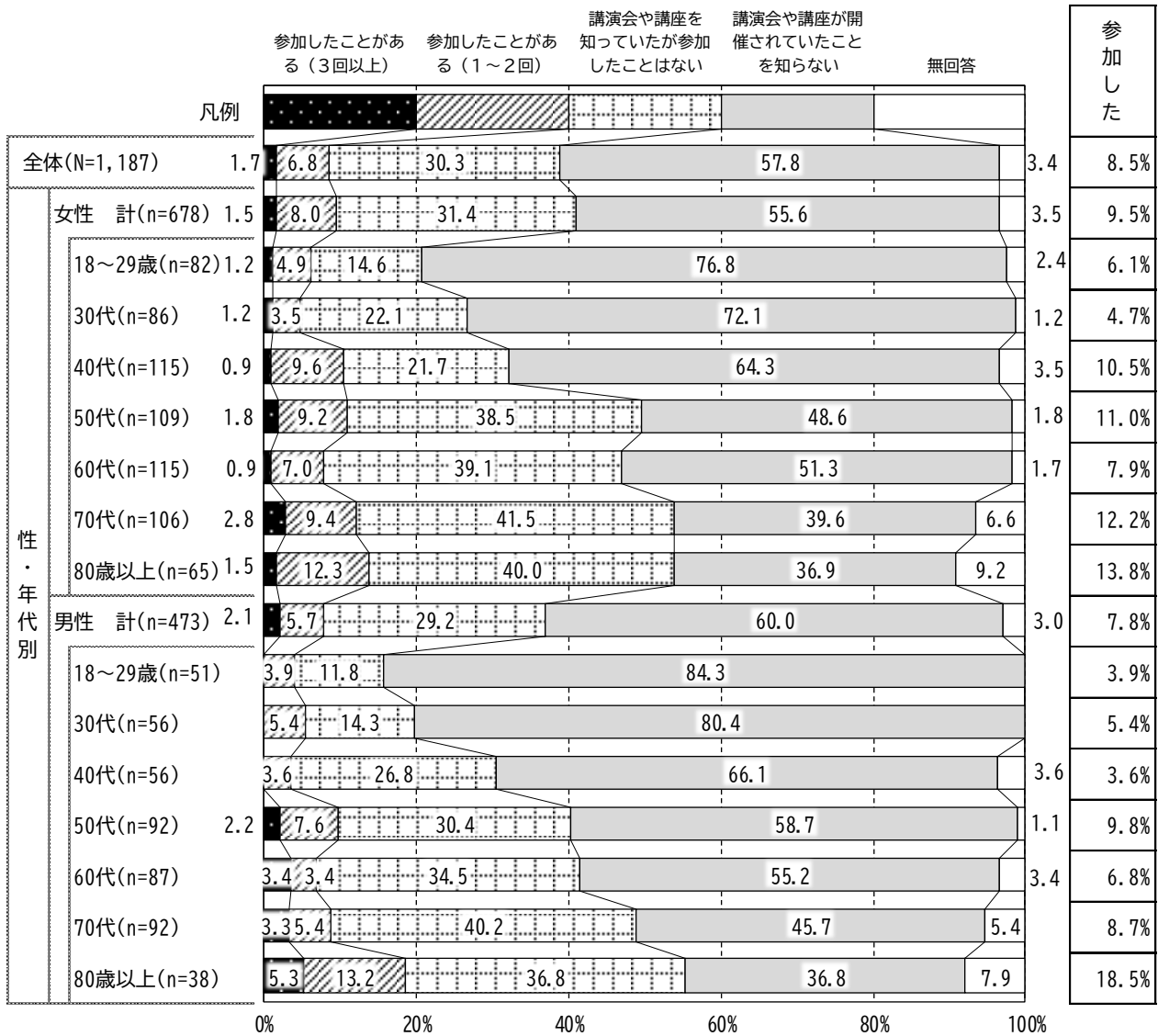
図表 34-2 講演会や講座への参加状況（全体／経年比較）



『参加した』=「参加したことがある（3回以上）」「参加したことがある（1～2回）」を合計した割合

令和4年度と比較すると、「参加したことがある（3回以上）」は0.2ポイント減少、「参加したことがある（1～2回）」は0.2ポイント増加、これらを合計した『参加した』は8.5%と、令和4年度と同率となっている。また、「講演会や講座を知っていたが参加したことはない」は3.9ポイント減少、「講演会や講座が開催されていたことを知らない」は6.3ポイント増加となっている。

図表 34-3 講演会や講座への参加状況（性・年代別）

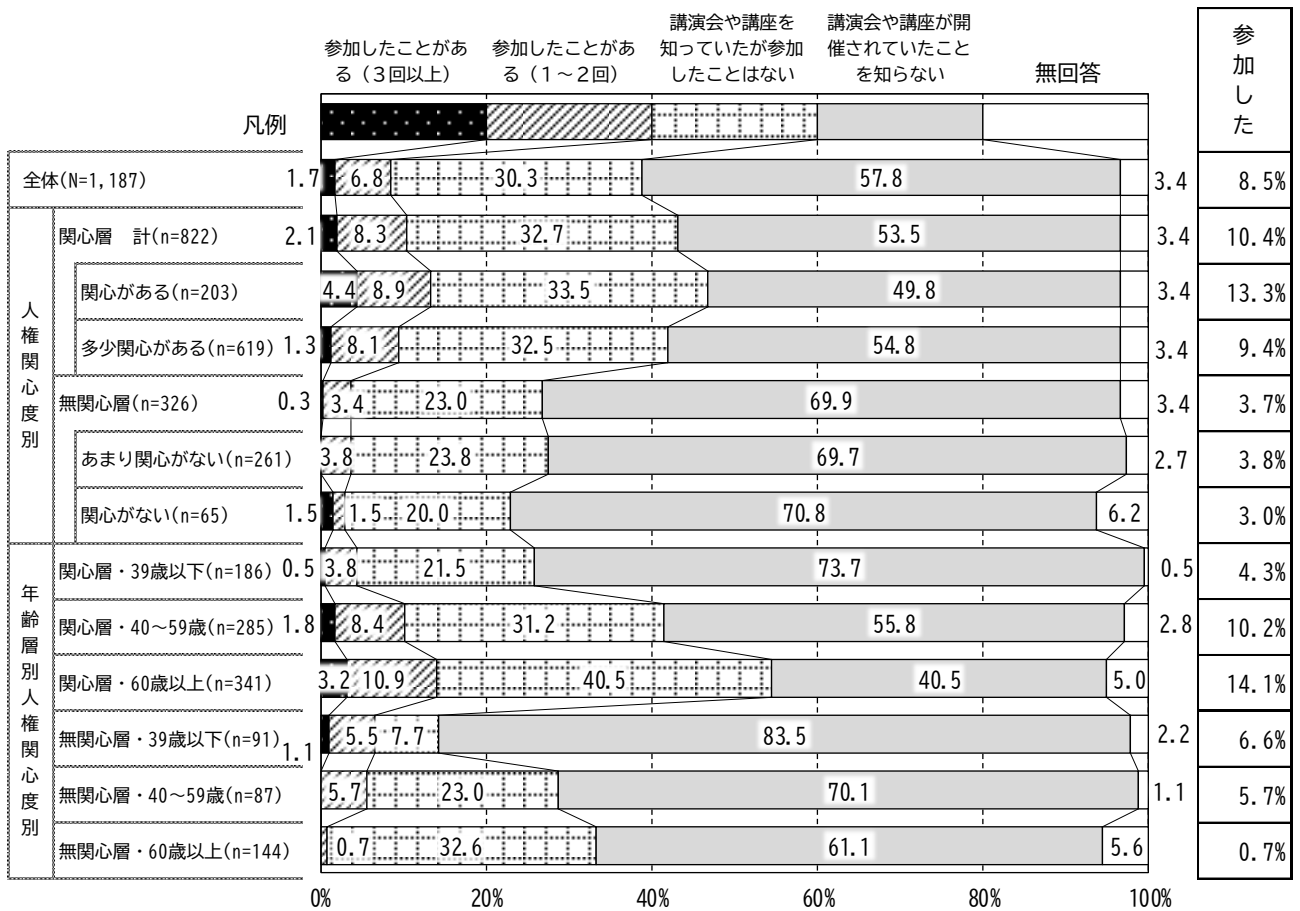


『参加した』=「参加したことがある（3回以上）」「参加したことがある（1～2回）」を合計した割合

性別にみると、女性では『参加した』が9.5%と、男性（7.8%）より1.7ポイント高くなっている。性・年代別にみると、女性では40代・50代・70代・80歳以上『参加した』が1割台にあるが、男性では80歳以上のみとなっている。

また、男女とも年代が低いほど、「講演会や講座が開催されていたことを知らない」が高い傾向にあり、特に男性の30代以下では8割以上となっている。

図表 34-4 講演会や講座への参加状況（人権問題関心度別）



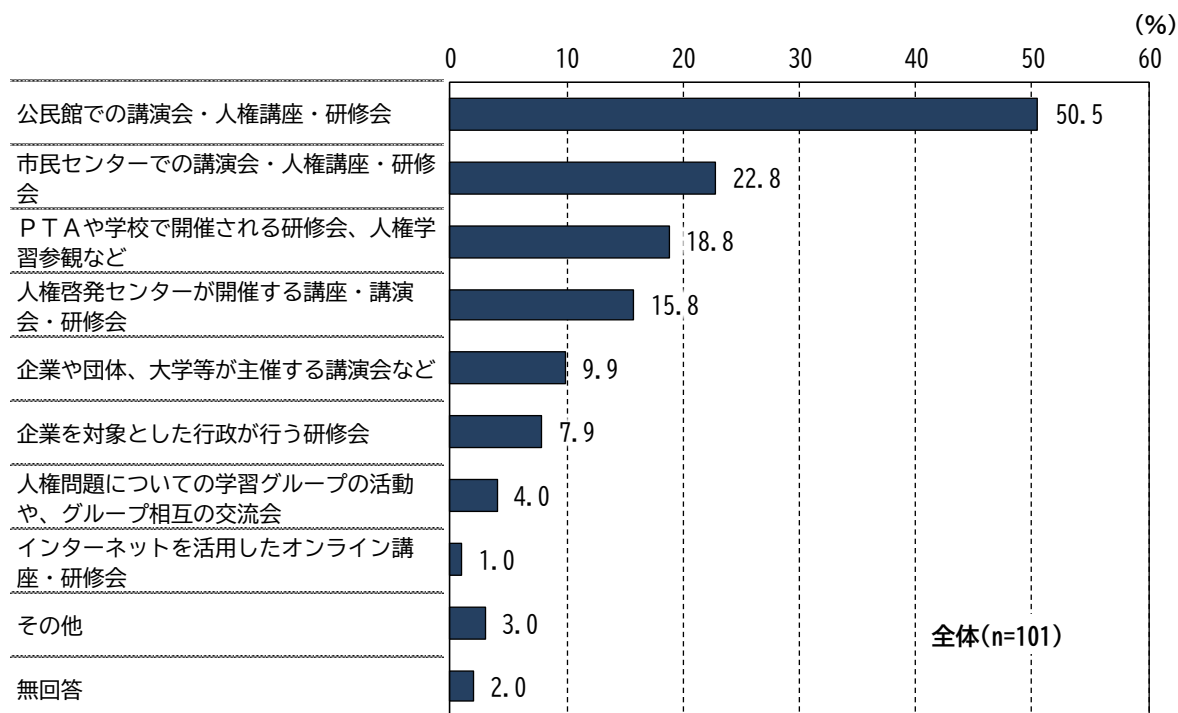
人権関心度別にみると、関心層と無関心層で参加状況に差があり、関心がある層ほど『参加した』が高くなっている。また、関心層においても「講演会や講座が開催されていたことを知らない」が53.5%となっている。

年齢層別人権関心度別にみると、関心層の39歳以下では『参加した』が4.3%と、無関心層の39歳以下（6.6%）、40～59歳（5.7%）よりも低くなっている。また、39歳以下では「講演会や講座が開催されていたことを知らない」が、関心層で73.7%、無関心層で83.5%と、他の年代よりも高くなっている。

(2) 参加したことのある講演会や講座

問 35 (問 34 で 1 ~ 2 に ○ 印をつけられた方に、お尋ねします。)
 次のうちのどの講演会や講座に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 35-1 参加したことのある講演会や講座 (全体)



参加したことのある講演会や講座としては、「公民館での講演会・人権講座・研修会」が 50.5% と最も高くなっている。次いで「市民センターでの講演会・人権講座・研修会」(22.8%)、「P T A や学校で開催される研修会、人権学習参観など」(18.8%)、「人権啓発センターが開催する講座・講演会・研修会」(15.8%) となっている。

図表 35-2 参加したことがある講演会や講座（全体／経年比較）

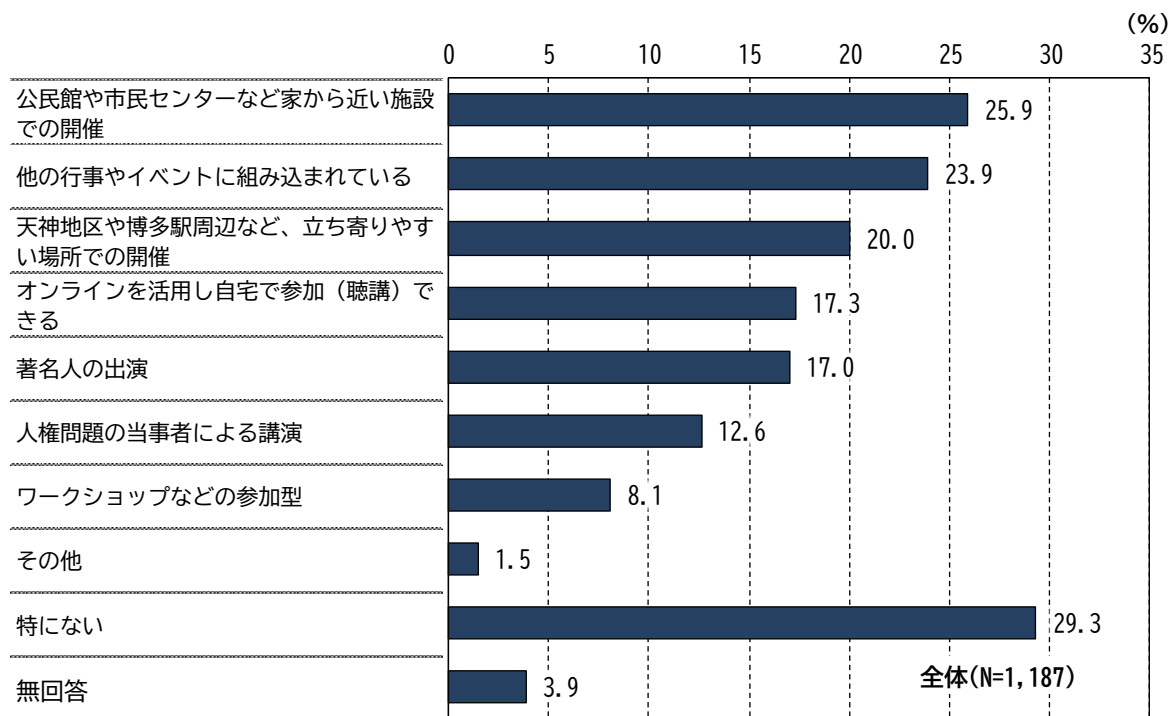
選択肢	今回 (n=101)	令和4年度 (n=111)
公民館での講演会・人権講座・研修会	50.5%	52.3%
市民センターでの講演会・人権講座・研修会	22.8%	27.0%
P T A や学校で開催される研修会、人権学習参観など	18.8%	36.0%
人権啓発センターが開催する講座・講演会・研修会	15.8%	11.7%
企業や団体、大学等が主催する講演会など	9.9%	15.3%
企業を対象とした行政が行う研修会	7.9%	6.3%
人権問題についての学習グループの活動や、グループ相互の交流会	4.0%	10.8%
インターネットを活用したオンライン講座・研修会	1.0%	2.7%
その他	3.0%	1.8%
無回答	2.0%	—

令和4年度と比較すると、上位項目では、「公民館での講演会・人権講座・研修会」は1.8ポイント減少、「市民センターでの講演会・人権講座・研修会」は4.2ポイント減少し、「P T A や学校で開催される研修会、人権学習参観など」は17.2ポイントと大きく減少している。

(3) 参加したい講演会や講座、イベント

問 36 福岡市が開催する人権問題に関する講演会や講座、イベントについて、どのようなものであれば、あなたは参加したいと思いますか。(〇は3つまで)

図表 36-1 参加したい講演会や講座、イベント (全体)



参加したい講演会や講座、イベントとしては、「公民館や市民センターなど家から近い施設での開催」が 25.9%と最も高くなっている。次いで「他の行事やイベントに組み込まれている」(23.9%)、「天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催」(20.0%)となっている。

図表 36-2 参加したい講演会や講座、イベント（全体／経年比較）

選択肢	今回 (N=1,187)	令和4年度 (N=1,303)
公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	25.9%	26.6%
他の行事やイベントに組み込まれている	23.9%	23.0%
天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催	20.0%	16.0%
オンラインを活用し自宅で参加（聴講）できる	17.3%	18.6%
著名人の出演	17.0%	17.4%
人権問題の当事者による講演	12.6%	15.0%
ワークショップなどの参加型	8.1%	9.1%
その他	1.5%	2.6%
特になし	29.3%	25.2%
無回答	3.9%	6.1%

令和4年度と比較すると、上位項目では、「公民館や市民センターなど家から近い施設での開催」は0.7ポイント減少、「他の行事やイベントに組み込まれている」は0.9ポイント増加、「天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催」は4.0ポイント増加している。

また、「特になし」は4.1ポイント増加している。

図表 36-3 参加したい講演会や講座、イベント（年代別）

(数値：%)

	サンプル数	施設など家から近い	公民館や市民センター	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い施設での開催
全体	1,187	25.9	23.9	20.0	17.3	17.0	12.6	8.1	1.5	29.3	3.9		
年代別	18～29歳	136	14.0	27.2	27.2	25.7	11.0	11.0	2.9	22.8	0.7		
	30代	145	11.0	26.9	20.7	15.2	7.6	8.3	2.1	37.2	1.4		
	40代	177	16.9	27.7	16.4	25.4	20.9	11.3	10.2	0.6	28.2	2.3	
	50代	205	27.8	27.3	21.5	20.5	21.0	13.2	10.2	2.0	22.4	1.0	
	60代	204	35.3	25.0	22.5	16.2	13.7	16.7	6.9	1.5	24.5	3.4	
	70代	199	35.7	16.6	16.1	10.1	11.1	17.1	6.5	1.0	33.7	8.5	
	80歳以上	107	37.4	15.9	15.0	2.8	9.3	6.5	2.8	0.9	43.0	12.1	

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

年代別にみると、60代以上では「公民館や市民センターなど家から近い施設での開催」、18～29歳では「天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催」「オンラインを活用し自宅で参加（聴講）できる」「著名人の出演」が他の年代に比べて高くなっている。

図表 36-4 参加したい講演会や講座、イベント（性・年代別）

(数値：%)

	サンプル数	施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い	他の行事やイベントに組み込まれている	天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催	オンラインを活用し自宅に参加（聴講）できる	著名人の出演	人権問題の当事者による講演	ワークショップなどの参加型	その他	特にない	無回答	
全体	1,187	25.9	23.9	20.0	17.3	17.0	12.6	8.1	1.5	29.3	3.9		
性・年代別	女性計	678	25.8	27.3	20.9	16.4	15.0	13.0	9.3	1.0	28.0	3.5	
	18～29歳	82	12.2	● 35.4	28.0	● 30.5	26.8	9.8	14.6	3.7	18.3	1.2	
	30代	86	11.6		27.9	19.8	19.8	7.0	9.3	1.2	38.4	1.2	
	40代	115	17.4		30.4	18.3	20.9	15.7	9.6	0.9	28.7	1.7	
	50代	109	30.3		29.4	24.8	22.9	16.5	11.0	-	17.4	0.9	
	60代	115	31.3		27.8	25.2	7.8	10.4	9.6	0.9	27.0	2.6	
	70代	106	● 39.6		20.8	17.0	9.4	12.3	18.9	6.6	0.9	27.4	8.5
	80歳以上	65	● 36.9		16.9	10.8	1.5	3.1	4.6	3.1	-	● 46.2	10.8
	男性計	473	27.1	19.2	18.2	19.0	19.9	12.3	6.8	2.3	30.9	4.4	
	18～29歳	51	17.6	15.7	25.5	19.6	25.5	11.8	5.9	2.0	31.4	-	
	30代	56	10.7	21.4	21.4	14.3	17.9	8.9	5.4	3.6	37.5	1.8	
	40代	56	17.9	23.2	10.7	● 33.9	23.2	3.6	12.5	-	25.0	3.6	
	50代	92	26.1	23.9	17.4	18.5	● 28.3	9.8	9.8	4.3	27.2	1.1	
	60代	87	● 40.2	21.8	18.4	● 27.6	16.1	21.8	3.4	2.3	21.8	4.6	
70代	92	31.5	12.0	15.2	10.9	9.8	15.2	6.5	1.1	● 40.2	8.7		
80歳以上	38	● 39.5	15.8	23.7	5.3	21.1	7.9	2.6	2.6	36.8	13.2		

※ =全体の数値より+5ポイント、● =全体の数値より+10ポイント

性別にみると、女性では「他の行事やイベントに組み込まれている」が27.3%と男性（19.2%）よりも8.1ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも60代以上では「公民館や市民センターなど家から近い施設での開催」が他の性・年代よりも高くなっている。女性18～29歳では「他の行事やイベントに組み込まれている」「オンラインを活用し自宅に参加（聴講）できる」、男40代・60代では「オンラインを活用し自宅に参加（聴講）できる」、男性50代では「著名人の出演」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

図表 36-5 参加したい講演会や講座、イベント（人権問題関心度別）

(数値：%)

	サンプル数	施設での開催	公民館や市民センターなど家から近い	他の行事やイベントに組み込まれている	天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催	オンラインを活用し自宅で参加（聴講）できる	著名人の出演	人権問題の当事者による講演	ワークショップなどの参加型	その他	特にない	無回答
全体	1,187	25.9	23.9	20.0	17.3	17.0	12.6	8.1	1.5	29.3	3.9	
人権問題関心度	関心層	822	29.6	26.0	22.7	20.6	17.9	15.1	9.7	1.7	21.3	3.2
	関心がある	203	34.5	25.6	28.6	22.2	13.3	15.8	12.3	3.4	19.7	3.9
	多少関心がある	619	27.9	26.2	20.8	20.0	19.4	14.9	8.9	1.1	21.8	2.9
	無関心層	326	16.0	19.3	12.3	9.8	15.0	6.1	4.3	1.2	● 49.1	4.9
	あまり関心がない	261	17.2	21.1	13.0	11.9	14.9	7.7	5.4	1.1	● 46.0	4.2
関心がない	65	10.8	12.3	9.2	1.5	15.4	-	-	1.5	● 61.5	7.7	
人権問題関心度別年齢層	関心層											
	39歳以下	186	13.4	31.2	● 30.6	● 28.5	21.0	11.3	11.8	2.2	19.4	-
	40～59歳	285	26.3	26.0	17.5	24.9	19.6	14.7	11.2	1.4	21.1	1.8
	60歳以上	341	● 41.3	23.5	22.6	13.2	14.1	17.3	7.6	1.8	22.9	6.2
	無関心層											
	39歳以下	91	11.0	19.8	8.8	9.9	19.8	4.4	4.4	3.3	● 51.6	3.3
40～59歳	87	11.5	32.2	21.8	16.1	21.8	5.7	8.0	1.1	39.1	1.1	
60歳以上	144	22.2	11.8	9.0	6.3	7.6	7.6	2.1	-	● 52.8	8.3	

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

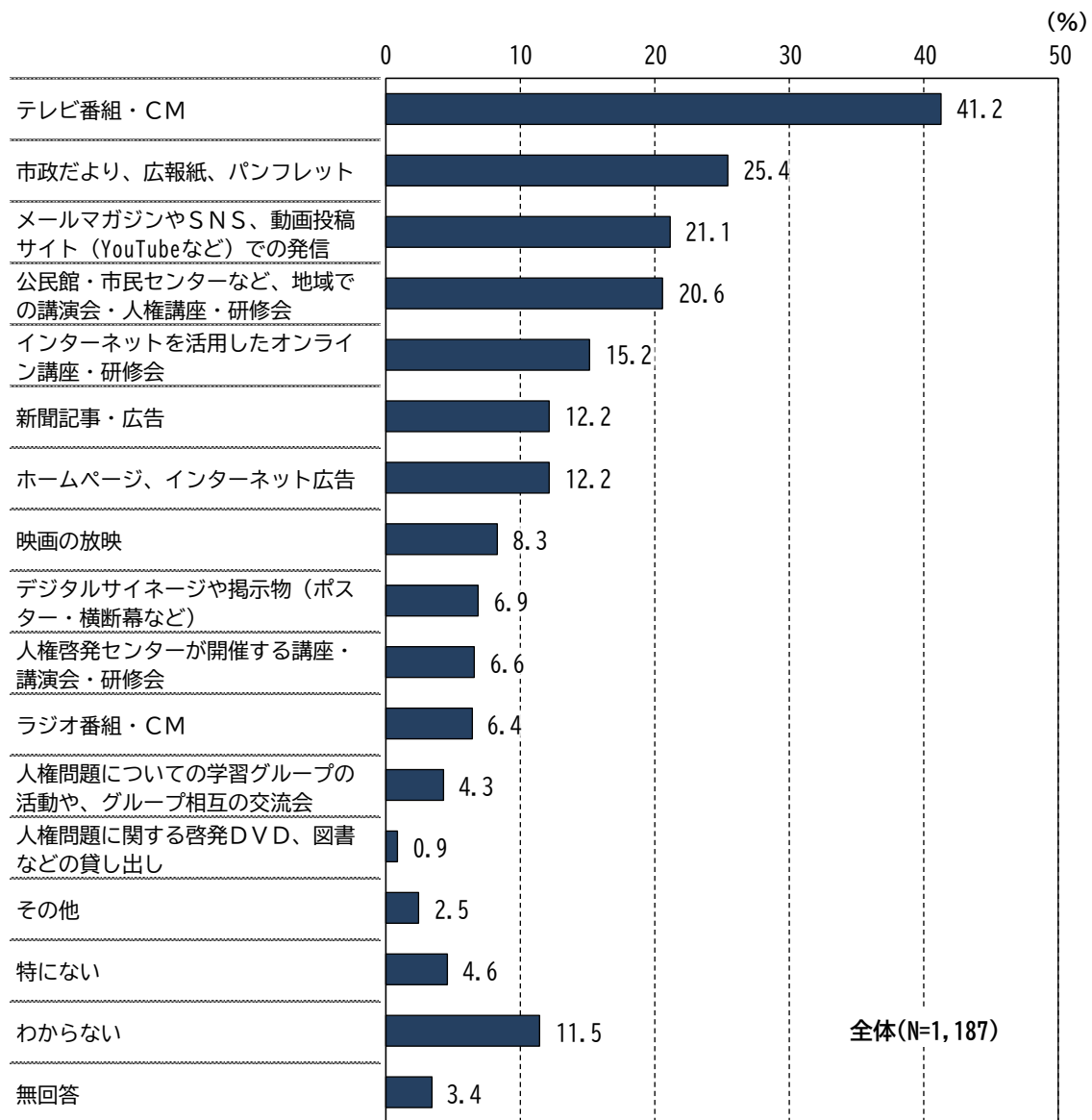
人権問題関心度別にみると、関心がある層では「公民館や市民センターなど家から近い施設での開催」「天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催」が他の層に比べて高くなっている。無関心層では「特にない」が49.1%と最も高くなっている。

年齢別人権関心度別にみると、関心層の60歳以上では「公民館や市民センターなど家から近い施設での開催」、39歳以下では「天神地区や博多駅周辺など、立ち寄りやすい場所での開催」「オンラインを活用し自宅で参加（聴講）できる」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。また、無関心層の40歳～59歳では「他の行事やイベントに組み込まれている」が32.3%と高くなっている。

6 人権問題についての理解を深めるために必要な啓発活動

問 37 人権問題についての理解を深めるにあたって、あなたはどのような啓発活動が特に役に立つと思いますか。(〇は3つまで)

図表 37-1 人権問題についての理解を深めるために必要な啓発活動 (全体)



人権問題についての理解を深めるために役に立つ啓発活動としては、「テレビ番組・CM」が41.2%と最も高くなっている。次いで「市政だより、広報紙、パンフレット」(25.4%)、「メールマガジンやSNS、動画投稿サイト (YouTube など) での発信」(21.1%)、「公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会」(20.6%)となっている。

図表 37-2 人権問題についての理解を深めるために必要な啓発活動（全体／経年比較）

選択肢	今回 (N=1,187)	令和4年度 (N=1,303)
テレビ番組・CM	41.2%	51.7%
市政だより、広報紙、パンフレット	25.4%	26.4%
メールマガジンやSNS、動画投稿サイト（YouTubeなど）での発信	21.1%	20.2%
公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会	20.6%	21.2%
インターネットを活用したオンライン講座・研修会	15.2%	14.4%
新聞記事・広告	12.2%	19.6%
ホームページ、インターネット広告	12.2%	11.9%
映画の放映※1	8.3%	
デジタルサイネージや掲示物（ポスター・横断幕など）	6.9%	6.4%
人権啓発センターが開催する講座・講演会・研修会	6.6%	5.5%
ラジオ番組・CM	6.4%	8.6%
人権問題についての学習グループの活動や、グループ相互の交流会	4.3%	4.6%
人権問題に関する啓発DVD、図書などの貸し出し	0.9%	1.1%
その他	2.5%	2.7%
特になし	4.6%	3.8%
わからない	11.5%	8.4%
無回答	3.4%	3.8%

※1 今回調査から追加

令和4年度と比較すると、最も高い「テレビ番組・CM」は51.7%から41.2%に10.5ポイントの減少となっている。

今回設定した「映画の放映」は8.3%で、14項目中8番目であった。

図表 37-3 人権問題についての理解を深めるために必要な啓発活動（年代別）

(数値：%)

	サンプル数	テレビ番組・CM	紙、市政だより、パンフレット	など（YouTubeなど）での発信	メールマガジンやSNS、動画投稿サイト	研修会・講演会・人権講座	公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座	座・研修会	インターネットを活用したオンライン講座	新聞記事・広告	ホームページ、インターネット広告	映画の放映	デジタルサイネージや掲示物（ポスター・横断幕など）	開催する講座・講演会・研修会	人権啓発センターが
全体	1,187	41.2	25.4	21.1	20.6	15.2	12.2	12.2	8.3	6.9	6.6				
年代別	18～29歳	136	36.8	8.8	● 37.5	12.5	20.6	8.8	16.2	11.8	10.3	5.1			
	30代	145	37.2	11.7	● 36.6	5.5	17.9	5.5	20.7	8.3	16.6	2.1			
	40代	177	45.2	22.0	29.4	13.0	22.0	7.9	15.8	8.5	5.1	4.5			
	50代	205	43.4	18.5	24.4	17.6	20.0	7.8	14.6	7.3	7.3	5.4			
	60代	204	46.1	32.8	12.7	27.5	13.2	13.2	13.7	10.8	6.4	13.2			
	70代	199	37.2	● 42.2	7.0	● 32.2	8.5	19.1	2.5	6.5	2.0	8.5			
	80歳以上	107	41.1	● 40.2	1.9	● 33.6	0.9	● 27.1	0.9	5.6	1.9	4.7			
	サンプル数	ラジオ番組・CM	交流会	や、学習問題に活用するなどの	人権問題に関する啓	貸し出し、図書など	のDVD、関する啓	人権問題に関する啓	その他	特にな	わ	無			
全体	1,187	6.4	4.3	0.9	2.5	4.6	11.5	3.4							
年代別	18～29歳	136	5.9	4.4	0.7	5.1	2.9	9.6	2.2						
	30代	145	3.4	4.1	0.7	4.8	6.9	11.0	2.1						
	40代	177	9.0	3.4	0.6	2.8	4.5	9.0	2.8						
	50代	205	6.8	5.4	1.0	3.4	4.4	10.2	1.5						
	60代	204	9.3	3.9	0.5	1.0	2.0	12.3	2.0						
	70代	199	4.0	4.5	2.0	-	5.0	14.1	6.5						
	80歳以上	107	5.6	3.7	0.9	0.9	6.5	15.0	7.5						

※ =全体の数値より+5ポイント、● =全体の数値より+10ポイント

年代別にみると、30代以下では「メールマガジンやSNS、動画投稿サイト（YouTube など）での発信」、70代以上では「市政だより、広報紙、パンフレット」「公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会」、80歳以上では「新聞記事・広告」が全体よりも10ポイント以上高くなっている。

図表 37-4 人権問題についての理解を深めるために必要な啓発活動（性・年代別）

(数値：%)

	サンプル数	テレビ番組・CM	紙、パンフレット、市政だより、広報	など（You Tube など）での発信	N S、動画投稿サイト	研修会	講演会・人権講座・公民館・市民センターなど、地域での	座・研修会	インターネットを活用	新聞記事・広告	ホームページ、インターネット広告	映画の放映	デジタルサイネージや掲示物（ポスター・横断幕など）	会開催する講座・講演	人権啓発センターが
全体	1,187	41.2	25.4	21.1	20.6	15.2	12.2	12.2	8.3	6.9	6.6				
性・年代別	女性計	678	44.0	27.7	22.6	20.4	13.4	12.7	10.9	8.6	7.1	5.8			
	18～29歳	82	36.6	12.2	● 35.4	15.9	22.0	11.0	13.4	9.8	11.0	4.9			
	30代	86	44.2	10.5	● 44.2	4.7	19.8	3.5	20.9	4.7	● 18.6	2.3			
	40代	115	47.8	25.2	27.8	13.9	18.3	7.0	13.9	9.6	5.2	3.5			
	50代	109	44.0	19.3	26.6	20.2	18.3	8.3	12.8	9.2	7.3	6.4			
	60代	115	46.1	34.8	13.9	26.1	7.0	13.0	12.2	10.4	5.2	12.2			
	70代	106	41.5	● 47.2	6.6	● 31.1	6.6	● 22.6	0.9	9.4	2.8	7.5			
	80歳以上	65	46.2	● 44.6	3.1	● 30.8	-	● 27.7	-	4.6	-	-			
	男性計	473	38.1	22.2	19.5	20.7	18.0	11.6	13.7	8.5	6.6	8.2			
	18～29歳	51	35.3	3.9	● 41.2	7.8	17.6	5.9	21.6	15.7	7.8	5.9			
	30代	56	28.6	10.7	26.8	5.4	16.1	7.1	21.4	14.3	12.5	1.8			
	40代	56	41.1	16.1	● 32.1	12.5	● 30.4	8.9	16.1	7.1	5.4	7.1			
	50代	92	42.4	17.4	22.8	15.2	21.7	6.5	16.3	5.4	7.6	4.3			
	60代	87	46.0	29.9	11.5	28.7	21.8	13.8	14.9	10.3	8.0	14.9			
70代	92	32.6	● 37.0	7.6	● 33.7	10.9	15.2	4.3	3.3	1.1	9.8				
80歳以上	38	36.8	31.6	-	● 36.8	2.6	● 28.9	2.6	7.9	5.3	13.2				

	サンプル数	ラジオ番組・CM	や交流会	学習グループ	人権問題について	の貸し出し	の貸し出し	その他	特にな	わ	無
全体	1,187	6.4	4.3	0.9	2.5	4.6	11.5	3.4			
性・年代別	女性計	678	6.8	4.9	0.9	1.9	2.4	11.7	2.9		
	18～29歳	82	4.9	7.3	1.2	3.7	-	8.5	1.2		
	30代	86	3.5	3.5	1.2	2.3	4.7	10.5	1.2		
	40代	115	7.8	4.3	0.9	1.7	3.5	8.7	2.6		
	50代	109	9.2	6.4	-	3.7	0.9	11.9	1.8		
	60代	115	7.8	2.6	0.9	1.7	1.7	14.8	0.9		
	70代	106	5.7	5.7	0.9	-	2.8	11.3	6.6		
	80歳以上	65	7.7	4.6	1.5	-	3.1	16.9	7.7		
	男性計	473	6.3	3.4	1.1	3.2	7.4	11.2	3.8		
	18～29歳	51	7.8	-	-	7.8	7.8	11.8	2.0		
	30代	56	3.6	3.6	-	7.1	10.7	12.5	3.6		
	40代	56	12.5	1.8	-	5.4	5.4	10.7	3.6		
	50代	92	4.3	4.3	2.2	3.3	8.7	7.6	1.1		
	60代	87	11.5	5.7	-	-	2.3	9.2	3.4		
70代	92	2.2	3.3	3.3	-	7.6	16.3	6.5			
80歳以上	38	2.6	2.6	-	2.6	13.2	7.9	7.9			

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

性別にみると、女性では「テレビ番組・CM」が44.0%と、男性（38.1%）よりも5.9ポイント高く、「市政だより、広報紙、パンフレット」が27.7%と、男性（22.2%）よりも5.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも60代以上では「市政だより、広報紙、パンフレット」「公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会」、女性70代以上、男性80歳以上では「新聞記事・

広告」、女性 50 代以下、男性 40 代以下では「メールマガジンや SNS、動画投稿サイト（YouTube など）での発信」が他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 37-5 人権問題についての理解を深めるために必要な啓発活動（人権問題関心度別）

（数値：％）

		サンプル数	テレビ番組・CM	市政だより、広報紙、パンフレット	（YouTube など）での発信	メールマガジンや SNS、動画投稿サイト	公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会	インターネットを活用したオンライン講座・研修会	新聞記事・広告	ホームページ、インターネット広告	映画の放映	デジタルサイネージや掲示物（ポスター・横断幕など）	人権啓発センターが主催する講座・講演会・研修会
全体		1,187	41.2	25.4	21.1	20.6	15.2	12.2	12.2	8.3	6.9	6.6	
人権問題関心度	関心層	822	42.8	27.6	21.8	23.8	18.6	13.0	13.0	8.4	6.9	7.5	
	関心がある	203	36.5	24.6	25.1	● 31.0	20.2	14.8	15.3	9.9	4.9	11.3	
	多少関心がある	619	44.9	28.6	20.7	21.5	18.1	12.4	12.3	7.9	7.6	6.3	
	無関心層	326	36.5	19.6	19.9	11.7	7.4	10.1	10.1	7.4	6.4	3.1	
	あまり関心がない	261	38.3	20.7	20.7	12.6	8.4	10.7	10.0	7.3	6.9	3.8	
関心がない	65	29.2	15.4	16.9	7.7	3.1	7.7	10.8	7.7	4.6	-		
人権問題関心度別年齢層	関心層	39歳以下	186	37.6	11.8	● 38.7	10.8	24.2	8.1	20.4	11.3	14.5	4.3
	40～59歳	285	44.6	21.8	25.6	17.9	24.2	7.0	16.1	7.0	5.3	5.6	
	60歳以上	341	44.6	● 41.6	9.4	● 35.5	10.9	20.8	6.7	8.2	4.4	11.1	
	無関心層	39歳以下	91	34.1	6.6	● 34.1	5.5	9.9	5.5	14.3	7.7	11.0	2.2
	40～59歳	87	42.5	16.1	28.7	8.0	10.3	9.2	11.5	10.3	8.0	2.3	
	60歳以上	144	34.7	30.6	6.3	18.1	4.2	13.9	6.3	5.6	2.1	4.2	

		サンプル数	ラジオ番組・CM	習いごとグループの相互の交流会	人権問題についての学	DVD、図書などの貸出し	その他	特にな	わからない	無回答
全体		1,187	6.4	4.3	0.9	2.5	4.6	11.5	3.4	
人権問題関心度	関心層	822	7.1	5.7	1.1	3.3	3.8	6.9	2.8	
	関心がある	203	3.9	8.9	2.0	4.4	5.4	3.4	3.9	
	多少関心がある	619	8.1	4.7	0.8	2.9	3.2	8.1	2.4	
	無関心層	326	4.9	1.2	0.3	0.9	6.7	● 23.6	4.6	
	あまり関心がない	261	5.0	1.5	0.4	0.8	6.5	21.1	3.8	
関心がない	65	4.6	-	-	1.5	7.7	● 33.8	7.7		
人権問題関心度別年齢層	関心層	39歳以下	186	5.4	5.9	1.1	7.0	3.2	7.5	1.1
	40～59歳	285	8.1	4.9	0.7	3.5	3.9	6.7	2.5	
	60歳以上	341	7.3	6.2	1.5	0.9	3.8	6.7	3.8	
	無関心層	39歳以下	91	3.3	1.1	-	1.1	7.7	16.5	4.4
	40～59歳	87	8.0	3.4	-	2.3	5.7	20.7	1.1	
	60歳以上	144	4.2	-	0.7	-	5.6	● 29.9	6.9	

※ = 全体の数値より+5ポイント、● = 全体の数値より+10ポイント

人権問題関心度別にみると、関心がある層で「公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会」「インターネットを活用したオンライン講座・研修会」が他の層に比べて高くなっている。

また年齢層人権問題関心度別にみると、関心層の 39 歳以下で「メールマガジンや SNS、動画投稿サイト（YouTube など）での発信」、60 歳以上で「市政だより、広報紙、パンフレット」「公民館・市民センターなど、地域での講演会・人権講座・研修会」、無関心層の 39 歳以下で「メールマガジンや SNS、動画投稿サイト（YouTube など）での発信」が全体よりも 10 ポイント以上高くなっている。

